

のこさい

議会だより

No. **170**
6月定例会

平成27年7月31日発行

「議会だより」は、あなたと議会を結ぶ情報誌です。

- 2 議会基本条例推進特別委員会を設置
- 4 そこが聞きたい!!一般質問
- 9 議会報告会を開催します



湖西市消防本部救助隊
全国消防救助技術大会に向けて訓練中

議会基本条例推進 特別委員会を設置

議会運営委員会から提出された「議会基本条例推進特別委員会」の設置ならびに閉会中の継続審査を全員賛成で可決した。

名 称	議会基本条例推進特別委員会				
目 的	議会基本条例の推進に伴う広範な情報提供及び市民との意見交換の場の質の向上ならびに、議会活動の効率的な運用の検証を研究する				
期 間	調査終了まで				
委 員	◎馬場 衛 ○楠 浩幸 福永桂子 菅沼 淳 土屋和幸 高柳達弥 佐原佳美 渡辺 貢 吉田建二 加藤弘己 竹内祐子 荻野利明 豊田一仁 島田正次 牧野考二 中村博行 神谷里枝 二橋益良				
◎は委員長 ○は副委員長					

西部公民館大ホールの半 面使用料を明文化

「湖西市立公民館条例の一部を改正する条例」を全員賛成により可決した。この条例は、西部公民館の大ホールを半面使用する場合の使用料を2分の1の額とすることを明文化するためのものである。

◆ 本会議での質疑 ◆

問 改正することに至った経緯は。

答 西部公民館の大ホールは、従来から半面で使用できるよう間仕切りがあったが、使用料については明文化されていなかった。利用者から半面使用の場合は半額にしてほしいとの意見が多く寄せられたことから、利用者の声に応えるとともに利便性を図るため、



▲西部公民館大ホール

半面使用の場合の使用料を条例で明文化しようとするものである。

◆ 議会の概要

〔6月8日〕
6月定例会が招集され、開議に先立ち、平成26年度一般会計繰越明許費繰越計算書や土地開発公社の経営状況など計3件について報告を受けた。開議後、会期を6月23日までの16日間と決め、市長提出12議案のうち、人事案件4議案を同意し、その他の議案について説明を受けた。

〔6月16日〕
5人の議員が一般質問を行った。

〔6月18日〕
5人の議員が一般質問を行った。

〔6月19日〕
5人の議員が一般質問を行った。

〔6月23日〕
議案に対する質疑を行い、8議案を原案のとおり可決した。その後、議会運営委員会から追加提出された特別委員会の設置及び議員派遣の2議案ならびに特別委員会から申し出があった閉会中の継続審査を可決し、6月定例会を終了した。

一般会計補正予算を可決

平成27年度一般会計補正予算(第1号)を全員賛成により可決した。今回の補正により、予算額を7,542万6千円増額し、総額は205億5,542万6千円となった。

補正(第1号)の主な内容

【歳出】

● 財政事務費

ふるさと納税の寄附者に対し、お礼の品を送付するための経費を増額
8,603万円

● 観光振興費

ふるさと納税の寄附者への湖西市ガイドマップ配布に伴い在

庫が不足するため印刷費を増額

115万円

● 予備費

4月・5月に予備費を充用したため、今後の災害などに備えて増額

4千万円

◆ 本会議での質疑 ◆

問

ふるさと納税が急増した要因は。

答

平成26年度に1年間をかけた十分に検討したお礼の品目と、市内協力業者の方や、ふるさと納税業務を支援する委託業者の選定が良かったと考ええる。また、協力業者の拡大を図るため、日々生産者農家やお店へ出向き、交渉にあたる職員の努力も大きいと考えている。リピーターを増やすべく、寄附者の皆さまにはスピーディーかつ丁寧な対応を心掛けています。

問

ふるさと納税に関する経費が当初予算から非常に大きく増額となっている要因は。

答

①平成27年4月からふるさと納税に関して寄附金控除額の上限が約2倍となったことで予想以上の反響があったこと、②日本最大のふるさと納税ポータルサイトを活用してインターネットから申し込みができるようにしたこと、③クレジットカードでも寄附ができ利便性が良くなったこと、④お礼の品を用意したこと。これらの要因により予想をはるかに超えた寄附があり、お礼の品などの歳出額が増加した。

人事案件

◆ 人権擁護委員

任期満了となる森重なおみ氏(梅田)、山本栄代氏(吉美)、原田幸男氏(境宿)を引き続き選任することに同意した。また、任期満了となる夏目治氏の後任として山本敏弘氏(大知波)を推薦することに同意した。

◆ 議案一覧 ◆

56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	内容
議員派遣について	特別委員会の設置について	平成27年度湖西市水道事業会計補正予算(第1号)	平成27年度湖西市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	平成27年度湖西市一般会計補正予算(第1号)	市道の路線の廃止について	静岡県市町総合事務組合規約の変更について	湖西市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	湖西市立公民館条例の一部を改正する条例制定について	湖西市手数料徴収条例の一部を改正する条例制定について	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて

審議結果については、全議案を全員賛成で可決(人事案件の「同意」を含む)した。

市議会の用語解説

【定例会】

定例的に開かれる会議のことで、湖西市議会では年4回、毎年3月・6月・9月・12月に開くこととしている。

【一般質問】

議員が市政全般について執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて所信をただしたり、報告や説明を求めること。定例会でのみ行われる。

【質疑】

提出された議案などに対し、提出者(市長、議員、常任・特別委員長)に対して疑問点をただすこと。

【議決】

議会で議案などに対する可否(賛否)を決定すること。内容によって主に次の種類がある。

- ・可決／否決……予算・条例・契約・意見書・決議などに関する議案
- ・認定／不認定……決算に関する議案
- ・承認／不承認……専決処分に関する議案、長の退職など
- ・同意／不同意……人事案件に関する議案
- ・採択／不採択……請願・陳情

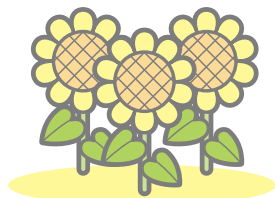
そこが聞きたい!!

一

般

質

問



一般質問は、議案と関係なく市の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針について所信をただし、あるいは報告・説明を求めるもので、定例会に限って行われます。

今6月定例会では、15人の議員が一般質問を行いました。

 湖西市公式サイト 市ウェブサイトで本会議の映像を見ることができます。

<http://www.city.kosai.shizuoka.jp/>

湖西市HP

湖西市議会

本会議インターネット放送

本会議の放送はこちらから(USTREAMへ)

地域防災指導員制度の課題は

▶▶▶ 知識やスキルのばらつきと、指導員数が定員に達していないことである



▲地域防災指導員の活動

● 地域防災指導員制度について

問

現在の地域防災指導員制度の課題は何か。

答

課題は次の2点があると思う。
①指導員によって防災に関する知識や、防災ゲームなどを運営するスキルのばらつきがあること。②現在の指導員数は40人で、要綱で定めている定員80人に達していない状況にあること。

● ふるさと納税の返礼品について

問

定例記者会見で、市長がふるさと納税を否定するような発言をしたことについて、どのような意図であったのか。

答

制度を批判したのではなく、制度導入当初の趣旨とは違う実態であるが、1年間の準備をした上で4月から湖西市も本格的に参入し、期待以上の成果となっているということを伝えたいという意図が正しく伝わらず反省している。



島田 正次

湖西市の特徴を踏まえた目標と方向性の考えは

▶▶▶ 若い世代が湖西市に定着する取り組みを検討

● 湖西市地域総合戦略の策定について

問

大卒女子の就職先が少ないなど、湖西市の特徴を踏まえた基本的な目標と方向性についてどう考えているか。

答

湖西市は製造業の企業が多いため、市内企業に就職する大卒者の多くは男性であり、女性の割合が少ないことは認識している。人口の将来展望を見据えた上で、大卒女子だけでなく、女性が働きやすく暮らしやすいまちをめざし、安定した雇用の創出や若者の就労支援、若い世代が湖西市に定着

する取り組みを検討する必要がある。

問

「湖西市総合戦略有識者会議」のメンバー構成は。

答

広く関係者の意見を反映するため、自治会連合会、商工会をはじめとし、産業、教育、医療、福祉、子育て、公共交通、NPO団体、金融、労働者団体、報道、行政の各関係者19名からなる有識者会議を組織し、それぞれの分野の代表として方向性や具体性について審議や検討を行っていく。



楠 浩幸

定住する世帯への奨励金制度の構想は

▶▶▶ 今年度策定する総合戦略の中で検討していく

●人口減少によって引き起こされる諸問題への対応について

問 定住人口を増やすための創意工夫として、定住する世帯への奨励金制度など優遇制度の構想はあるか。

答 若者の定住を促すための奨励金制度は、県内の市町でも実施しているところがある。制度の基本は市内に住居を新築する場合の助成金であるが、内容は各市町で特色のあるものとなっている。湖西市でも今年度策定する総合戦略の中で積極的に検討したい。

●利用しやすい公共交通路線の提案について

問 コーちゃんバスの路線を見直し、ボートレース浜名湖にバス停を設置してはどうか。

答 「日常生活における通院や買い物などの移動を確保するためのコミュニティバス」という趣旨から、現在は集落と鉄道駅を中心にバス停を配置している。ボートレース場側の意向も確認しながら、「湖西市地域公共交通会議」に諮り、検討したうえで結論を出す。



加藤 弘己

総合戦略策定のため、若者と意見交換は行うのか

▶▶▶ 市内在住の20代・30代と高校3年生の年代を対象にしたアンケートを実施予定

●地方創生について

問 人口減少の原因は若者の声が市政に届いていなかったためと考えるが、地方版総合戦略策定にあたり、若者との意見交換をする考えはあるか。

答 直接意見交換の場を設けることは予定していないが、戦略策定において重要な基礎と位置づけられている「地方人口ビジョン」を策定するにあたり、若者世代へアンケートを実施する予定であ

る。内容は、市内在住の20代・30代から無作為に抽出した3,500人を対象とした「結婚・妊娠・出産・子育て」に関するものと、市内在住の高校3年生になる年代全員、約600人を対象とした「今後の進路希望」に関するものである。このアンケートから得られる意見や考え方を戦略の策定に生かしていきたいと考えている。

その他の質問

●湖西市美しい生活環境を確保する条例について



竹内 祐子

耐震上問題のない空き家の有効活用の考えは

▶▶▶ 県の空き家バンクや広報こさいなどで情報提供していく

●「空き家」対策について

問 耐震上問題のない空き家については、利用していくことも考えるべきではないか。

答 資源保護や二酸化炭素削減の観点から空き家の有効利用は重要だと考える。静岡県をはじめ、県下19市町が参加している「静岡不動産流通活性化協議会・空き家対策部会」に参加し、住宅の流通やストック活用に努めている。また、所有者の同意を得た上で、県の空き家バンクのウェブサイトへ市内の耐震上問題のない空き家情報を掲載するとともに、広報こさいなどで情報提供していく。

●音のバリアフリー対策を！

問 補聴器購入に対し助成する考えはないか。

答 現在、障害福祉政策の中で助成しており、対象は聴覚障害による身体障害者手帳所持者である。加齢に伴う聴力低下も手帳取得対象となるので、医師と相談した上で手帳を取得し、助成制度を利用していただきたい。



荻野 利明

その他の質問

●生活保護の住宅扶助費について

レベル2の津波対策への取り組みの考えは

▶▶▶津波避難施設の整備後に浸水深を減らす取り組みを考えていく

●津波対策施設に関する静岡モデル推進検討会中間報告について

問

レベル2の津波対策に対する取り組みをどのように考えているのか。

答

レベル2の津波に対しては、どのようなハードを整備しても被害を防ぎきることはできないと考えていることから、現在は、避難空白域を最優先に避難施設の整備を進めている。避難施設の整備の次には、津波の浸水深を減らす取り組みに着手したいと考えている。

●消防施設の維持整備の状況及び本市の消防力の現状認識について

問

消防団のポンプ自動車の更新は、導入後、何年と考えているのか。

答

整備計画では、経過年数18年以上、または走行距離10万キロメートル以上で更新と定めているが、高額な修理を要する場合及び事故等で使用に耐えられない場合には、随時更新を検討していく。



▲平成27年3月に完成した
わんぱくランド内の津波避難デッキ



渡辺 貢

浜名湖西岸土地区画整理事業の企業誘致活動は

▶▶▶企業などへの説明や情報収集を行っている

●浜名湖西岸土地区画整理事業について

問

本事業への企業誘致活動はどのようにしているか伺う。

答

平成26年度から、大手企業やその系列会社などへ事業説明に出向いたり、静岡県東京事務所を通じて東京の大手開発業者へも事業説明や情報収集のため伺ったりしている。また、現状として、ある大手開発業者が、現地確認と事業の詳細を聞きたいと湖西市へ訪ねてきたこともあった。

●湖西市ものづくり人材交流事業について

問

ものづくり人材交流事業を今後どのように発展させていく考えであるか。

答

事業の目的は、シニア世代の生きがいと地域企業に知識・技術を伝承することで、市民がいつまでも元気で活躍するまちを目指すものである。シニア世代が今まで培ってきた「知識・技術・技能」を伝承させる、などの6つの基本的な考え方を踏まえ、事業へ取り組んでいく。



牧野 考二

老人クラブが市へ提出する書類を簡素化する考えはないか

▶▶▶事務の軽減、簡素化に努めており、今後もさらに簡素化を図っていく

●湖西市老人クラブの現状と活性化について

問

老人クラブの数や加入率が減少しているが、その理由の中に役員の負担が大きいことがある。そこで、市へ提出する補助金関係の書類の簡素化を行っていく考えはないか。

答

書類作成の問題は承知しているが、補助金の交付のためには必要なことである。記入例を例示するなど事務の軽減や簡素化に努めており、今後もさらなる簡素化を図っていく考えである。

問

老人クラブ以外の高齢者の生きがい対策を考えているか。

答

高齢者が生きがいを持って元気で生活できるよう、「高齢者バス利用料金助成事業」や「コーちゃん健康マイレージ事業」を実施している。さらに、介護一次予防事業として「家庭菜園教室」などの楽しく継続してできる内容の教室を開催し、仲間づくりや趣味づくりのきっかけの場を提供している。



▲老人クラブ輪投げ大会



土屋 和幸

市民協働で創る「市民が誇れる湖西市」における自治会の位置づけは

▶▶▶ 地域課題の面から市民協働に取り組めるパートナーであり、重要な存在である

● 市民協働で創る「市民が誇れる湖西市」

問

新・総合計画で定めた将来像“市民協働で創る「市民が誇れる湖西市」”における自治会の位置づけをどのように考えているか。

答

自治会は地域課題という切り口から市民協働を進めるための唯一無二のパートナーであり、大変重要な存在である。地区別自治会懇談会をはじめ、自治会要望の対応や自治会を通した住民との会議・懇談など、地元へ出

かけたり市役所へ来ていただいたりと多くの機会を持って相互の意思疎通に努めている。

問

“市民協働で創る「市民が誇れる湖西市」”を実現するために今後どのように推進していくのか伺う。

答

将来像を実現するために新・総合計画を策定し、推進している。市長を筆頭に職員一丸となってしっかり実行していきたいと考える。



中村 博行

浜名湖沿岸の堤防整備の考えは

▶▶▶ 県に堤防整備の要望を行っていく



▲ 浜名湖岸の堤防

● 防潮堤の整備について

問

浜名湖沿岸にある、農地が宅地化された箇所の堤防を住宅地の保護ができる構造に整備する必要があると考えられているのか。

答

当該堤防は農地を守る目的で建造されたものであり、老朽化とともに波返しもないことから災害時には堤内地に海水が浸入する可能性がある。このような状況が改善できるよう、管理者である県に対し堤防整備の要望を行っていく。



高柳 達弥

● 市民憲章とまちづくりについて

問

市民憲章の理念を啓蒙し実践するよう、新・総合計画基本計画の中間見直しに反映する考えはあるか。

答

市民憲章は、新・総合計画基本構想の「めざすまちの姿」の7つの柱の中に生かされており、基本計画の施策も市民憲章を踏まえて作っている。そのため、実践ということでの見直しは行わないが、市民憲章を忘れないように、という精神は今後も持ち続けていく。

市の道路整備状況をどう捉えているか

▶▶▶ 広域幹線道路と通学路などの整備が課題

● 湖西市における道路整備について

問

市民生活の向上や交通の安全のため、道路整備事業の計画的な推進が必要と考えるが、市の道路整備状況をどう捉えているか。

答

広域幹線道路と通学路などの整備が課題である。今後は新東名と国道23号バイパスを結ぶ広域幹線道路である(仮称)浜松三ヶ日・豊橋道路の事業促進についての要望活動や、通学路、公共施設にアクセスする幹線道路の歩道整備を積極的に進めていきたい。

● 浜名湖観光圏における湖西市の取り組みについて

問

表浜名湖の観光事業の活性化を図るため、国の特別史跡である新居関所をどのように活用するのか。

答

平成27年3月に大御門が復元され、国道301号の歩道整備や電線の地中化など、良好な景観形成が進んでいる。地元商店街や新居関所周辺活性化協議会など市民主体の取り組みを応援するとともに、近隣の気賀関所との連携も検討していく。



馬場 衛

調査・計画の委託に対する評価・分析の方法は

▶▶▶ 点数による評価の仕組みはないが、協議・指導を行っている

● 各種調査・計画立案の外部委託について

問 職員の削減による業務の合理化のため、各種調査・計画立案などの外部委託は今後さらに量的にも質的にも重要性を増すが、成果品に対しての評価・分析はどのように行われているのか。

答 点数による評価・分析の仕組みはないが、最良の成果を得るため、完成までに担当部局が十分な協議・指導を行っている。委託完了時は、契約内容に適合するものかどうか担当部局が確認している。

● 緑寿の集いについて

問 緑寿の集いの開催目的である「市民協働へのきっかけづくり」と参加者の感想との間に、大きな離れが感じられる。事業開始から3年を経て把握した課題と、その対応策は。

答 この集いを通して、地域に目を向け市民協働へ参加する方は必ずしも多いとは言えない。初期の目的と合致するよう、開催の趣旨を参加者に明確に伝え、事業の委託先と協議しながら地域活動や社会貢献活動へのきっかけとなる企画をしていきたい。

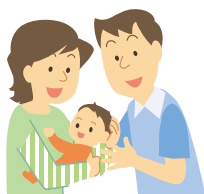


豊田 一仁

産休・育休に対する市の見解は

▶▶▶ きちんと取得できるよう、継続して普及に努める

● 産休・育休の取得について



問 子育てにやさしい市を目指すためには、産休・育休がきちんと取得できることが非常に重要である。これについて市の基本的な見解は。

答 子育てにやさしい環境づくりは、湖西市の将来にとって非常に重要であり、優先して進めなければならない。これまで、広報などにより周知してきたが、子育て世帯の市民の皆さんが、仕事と家庭の両立のために産休・育休をきちんと取得できるよう、より一層の普及に努めたい。



福永 桂子

● 大人にも子どもにもやさしいトイレの環境づくりについて

問 子どもからお年寄りまで安心して利用できる、バリアフリー化などを含んだ利便性・安全性の高いトイレ環境づくりが課題と考えるが、まずは災害時に避難所にもなる小中学校に温水洗浄便座を設置する予定はあるか。

答 すでに市内の小中学校には、洋式トイレを各学校1カ所以上設置している。現在、各学校に1カ所、温水洗浄便座を設置している途中である。

その他の質問

● 地縁組織における女性役員登用のインセンティブ(動機付け)について

まちづくり事業の方針は

▶▶▶ 現在継続中の事業の早期完了が優先

● まちづくり事業の推進について

問 良好な土地利用の促進を図っていくことは、まちづくり事業の推進のため非常に重要な要素である。都市計画マスタープランのまちづくりの方針に沿って事業が進められると思うが、まずどのような地区や事業から着手していくのか。

答 市内を5つの地域に分け、地域ごとに方針を設定している。例えば西部地区では新所原駅周辺整備事業、北部地域では国道301号における歩道整備、東部及び南部では遠州灘海岸の防潮堤の整備など、まずは現在継続中の事業の早期完了を優先する。

● 公共施設再配置の推進について

問 今後、施設の管理運営の適正化を含め、どのように施設マネジメントを進めるか。管理の一元化など体制づくりが必要と考えるがどうか。

答 平成27年度は、企画政策課にて「公共施設等総合管理計画」を策定する。また、庁内で組織する公共施設マネジメント検討会や行財政改革推進本部で協議していくほか、外部からは行財政改革審議会から市民の意見をいただく考えである。

管理体制については、公共施設の実態を横断的に把握することが必要なため、将来的には一元化も視野に入れ、まずは庁内連携の強化を図りながら管理計画の策定に取り組みたい。



▲新所原駅北口の完成イメージ



吉田 健二

総合戦略に不妊治療費無料化と不育症治療費助成を

▶▶▶ 今後検討、判断していく

●まち・ひと・しごと創生 地方版「人口ビジョン」、「総合戦略」の進捗状況について



問 「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」ため、男性不妊症を含む不妊治療費無料化と不育症治療費助成を総合戦略に加え、「産む」ことへの支援をしてはどうか。

答 今年度から、男性不妊治療が県の補助対象事業となったことから、湖西市でも具体的な事業実施を検討している。すべて無料化については、今後の検討課題とする。
不育症については、県が今年度から相談事業を始めているため、しばらく状況を見守り、今後の判断材料としたい。

問 湖西市への移住者獲得のため、若者に普及率の高いスマートフォンでも閲覧しやすいよう、スマホ版のウェブサイトで情報発信してはどうか。

答 若者の多くがスマートフォンを活用していることから、これを利用した情報発信は重要であると認識している。湖西市ウェブサイトのスマートフォン対応化については、かなりの導入費用、維持費用がかかることから、検討案件としたいが、広報こさいのスマートフォン対応化は、手間や費用がかからないため、近々導入する予定である。



佐原 佳美

みんなで湖西を考えよう！

議会報告会を開催します!!



“市民が主役で、活発な議論をする、見える議会”を目指して

下記のとおり、議会報告会を開催します。各会場には担当の議員が伺い、報告させていただきますので、最寄りの会場へお越しください。



▲前回の議会報告会の様子

●●●●●●●●●●事前予約不要 当日会場へ直接お越しください●●●●●●●●●●

開催日時	会 場
11月 3日(火・祝) 19:30 ~ 21:00	新居地域センター 視聴覚室
11月 9日(月) 19:30 ~ 21:00	新所幼稚園 遊戯室(にこにこホール)
11月10日(火) 19:30 ~ 21:00	西部公民館 講座室1・2
11月11日(水) 19:30 ~ 21:00	健康福祉センター(おぼと) 3階研修室
11月12日(木) 19:30 ~ 21:00	南部構造改善センター 多目的ホール

報告内容など詳細についてはチラシ・ポスターでお知らせします

市議会からのお知らせ

季節のひとこま

6月28日
湖西歌舞伎定期公演
(新居地域センター)



● 9月定例会の予定 ●

8月31日(月) 10:00～	本会議第1日
9月 8日(火) 10:00～	本会議第2日(一般質問)
9日(水) 10:00～	本会議第3日(一般質問)
10日(木) 10:00～	本会議第4日(一般質問)
11日(金) 10:00～	本会議第5日
14日(月)～16日(水) 9:30～	決算特別委員会
18日(金) 10:00～	総務経済委員会
24日(木) 10:00～	福祉教育委員会
25日(金) 10:00～	建設環境委員会
30日(水) 10:00～	本会議第6日



予定が変わることもありますので、議会事務局へお問い合わせください。

………議会傍聴に来ませんか?………

注目

- どなたでも傍聴できます。
- 当日、市役所3階議会事務局へお越しください。
- 予定が変わることもあります。事前に議会事務局(TEL.053-576-4791)へお気軽にお問い合わせください。

傍聴にこられない方も市議会の様子をご覧頂けます。

▶ 浜松ケーブルテレビ チャンネル・ウィンディ

本会議の一般質問が、浜松ケーブルテレビ「チャンネル・ウィンディ」で放映されます。

▶ 湖西市ウェブサイト インターネット放送

本会議のインターネット放送(生中継・録画)を市のウェブサイトからご覧になれます。



…市民の皆様の声をお寄せください…

議会運営に役立てるため、議会に対する意見、傍聴や議会だよりの感想などについてのお便りをお寄せください。郵送・ファックス・Eメールで受付しています。なお、内容により、議会だよりに掲載する場合がありますのでご了承ください。

規定

- ▶ 住所、氏名、電話番号を明記してください。
- ▶ 議会だよりへの掲載を希望しない方は、その旨をご記入ください。
- ▶ 議会だより掲載時に趣旨を変えず直すことがあります。
- ▶ お便りの返却はいたしません。

あて先

湖西市議会 議会だより編集委員会
〒431-0492 静岡県湖西市吉美3268番地
TEL.053-576-4791/FAX.053-576-0331
E-mail ▶ gikai@city.kosai.shizuoka.jp

編集後記



盛夏の候、楽しい夏の計画はいかがですか。

6月議会は、議員改選後初めての定例会でしたが、18人中15人の議員が一般質問に立ち、人口減少問題や防災対策等、喫緊の課題を市長に問いました。また、平成26年12月に制定した「湖西市議会基本条例」を生かす「議会基本条例推進特別委員会」の設置も決定し、推進している姿を示して参ります。どうか議会だよりでご覧下さい。皆さまのご意見をお待ちしています。無事故の夏をお過ごしください。(佐原 佳美)

編集委員

(◎は委員長、○は副委員長)

◎二橋 益良	○加藤 弘己
福永 桂子	菅沼 淳
土屋 和幸	高柳 達弥
佐原 佳美	神谷 里枝

今回は

10月31日 発行予定です

